



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

# 三つ柏

— MI TSU KASHIWA NO.12 —

平成30年6月25日発行

## さまざまな出合いや交流の中で……

人づくりを建築にたとえた話を聞いたことがあります。親や先生との交流は柱を立てることで、友だちなど同年代の人と交流するのは梁（はり）をかけることだそうです。柱も梁も大切ですが、それだけでは地震に強い建物（逆境に強い人）になりません。強い建物にするためには、「筋交い（すじかい）」が必要です。人づくりで「筋交い」にあたるのが、年齢の離れた人、普段あまり接する機会の少ない人との交流（いつも以上に相手の気持ちを考えて行動しなければならない人との交流）だそうです。先週、「筋交い」にあたる交流がいくつかありましたので紹介します。

学校に来てくださった皆さん、ありがとうございました。



### 祖父母の方々との交流から学ぶ！－「ふるさと集会」開催

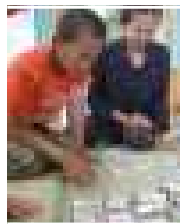
6月22日（金）、約40名の祖父母の方々にご参加いただき、ふるさと集会を行いました。

最初にみんなで藤原まりさんの昔語りに耳を傾け、時にはみんなで一緒に笑い楽しい時間を過ごしました。

その後は、低・中・高学年に分かれて、音読

や歌を聴いていただいたり、一緒に白岩カルタやゲートボールをしたりして楽しい時間を過ごすことができました。

家にいるときとは違う（ちょっと立派にしている？）お孫さんたちの様子はいかがだったでしょうか。



### 夢先生との出合いから学ぶ！－JFA主催「夢の教室」開催

6月20日（水）、プロサッカー選手の柴村直弥氏を夢先生としてお迎えして、夢の教室が行われました。本校と桜木内小の5年生と一緒に受講しました。

はじめは体育館で、途中で作戦タイムを設けながらミッションをクリアする活動を行いました。最初の作戦タイムでは、なかなか意見が出なかったのですが、後半はいろいろな意見を出して頑張っていました。

後半は、音楽室で講話を聞きながら、自分の夢について考えました。夢先生が夢を実現する

までの話は、うまくいかないときほど努力する大切さを教えてくれるものでした。

子どもたちも「将来の自分」「今の自分」について考えることができた時間になったようです。

どんな話を聞いたのか、どんなことを考えたのかをご家庭でも話題にしてみてください。



## 保護者のみなさん、ありがとうございます-PTA専門部の活動から-

### 夏が楽しみです

総務部・保健体育部：プール清掃

6月15日(金),総務部,保健体育部の保護者の方々の協力の得ながら,5,6年生がプールの清掃をおこないました。水がなかなか抜けていかないなどのトラブルもありましたが,保護者の方々の臨機応変な対応のおかげで計画通り最後まで行うことができました。天候にもよりますが,6月後半からプール授業を行う予定です。安全に気をつけながら,子どもたちが楽しく目標をもって授業に臨めるよう支援していきます。



### 7月のPTAが楽しみです

研修部：研修会事前打合せ

6月21日(木),研修部の保護者の方々が,仕事が終わった後に集まり,7月4日(水)のPTAの際に行う研修会「『白岩郷土かるた』で地域の歴史や文化を学ぼう!」の打合せをしてくださいました。この研修会は,地域の歴史や文化が凝縮された「かるた」を通じて,地域のよさを親子で学習する機会として計画されたものです。知らなかった地域のよさを発見する楽しい時間になるのではないかと今から楽しみです。



## 学校生活ア・ラ・カルト

「安全な暮らし」を守るために

### 4年生社会科フィールドワーク

6月21日(木),4年生が社会科学習『「安全な暮らし」を守るために』の一環として,角館警察署と消防署の見学に行きました。私たちが安全に暮らしていくために,「誰が,どんなことを,どんな工夫をして行っているか」や,「安全に暮らしていくために自分自身で何ができるか」を考える授業です。見学後,教室で分かったことや考えたことを子どもたちはしっかりまとめていました。ご家庭でも,お子さんにどんな感想をもったかなど聞いてみてください。

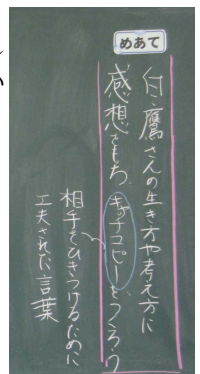
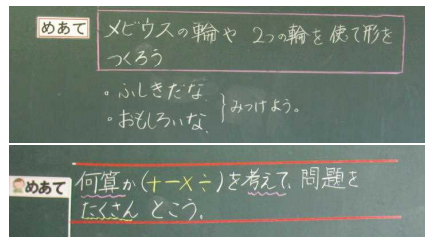


「実物に触る」「実際にやってみる」など,貴重な体験がたくさんできました。警察署,消防署のみなさんありがとうございました。

先生たちも勉強しています

### 今年最初の指導主事訪問

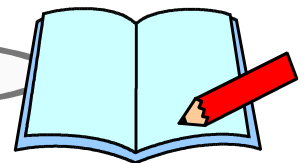
6月19日(火),南教育事務所の鈴木指導主事と北浦教育文化研究所の三浦所長に全学年の授業をみてもらいました。昨年も授業を見てくださっているお二人は「子どもたちが成長している姿を見ることができました」とおっしゃっていました。「発表するときは,友だちの方をみたほうがよいですよ」というアドバイスもいただきました。先生たちは,このような機会を利用しながら,授業をもっとよくするにはどうしたらよいかを研究しています。授業の最初に決める「めあて」を,今以上に子どもたちが「なぜだろう」「やってみよう」と思えるものにしていくにはどうしたらよいか,というのもその一つです。



今でも子どもたちが,何をやるのが分かりやすくなるよう,工夫して「めあて」を示していますが,先生たちはよりよい授業にするためどん欲に頑張っています。

# 6月

## もあと少しでおわりです



「学校報No.9」に,今月子どもたちに頑張っしてほしいことを掲載しました。

その一つが「家庭学習に工夫して取り組もう」です。6年生には,「すき間がないようびっしり勉強する」「見やすいノートにする」など,自分で目標を立てて頑張っている人がたくさんいるそうです。さすが6年生!

6月もあと少しでおわりです。「どんな工夫をして家庭学習している?」「こんな工夫もいいんじゃない?」など,この機会に家庭学習のやり方について,ご家庭でも話題にしてみてください。